

嘉瀬川ダム周辺で見られる生き物

ダム周辺は、豊かな自然環境に恵まれていて、上流域の福岡県との境は「脊振北山県立自然公園」に指定されています。嘉瀬川ダムとその周辺環境には、さまざま

な動物植物が生息・生育しており、鳥類40種、ほ乳類8種、は虫類4種、両生類7種、魚類18種などが確認されています。

魚類

ダム湖には、コイ、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、ヤマメなどがみられるほか、止水的な環境を好むワカサギやコクラクハゼなども多く生息しています。



コイ



カワムツ



オイカワ



ギンブナ



ヤマメ

両生類

水辺と樹林環境を含むダム湖周辺は、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエル、周辺の河川はカジカガエルなど、多様なカエル類のすみ場となっています。



トノサマガエル



シュレーゲルアオガエル



カジカガエル

ほ乳類

ダム湖周辺の樹林や草地には、イノシシ、タヌキ、ノウサギ、キツネなどのすみ場となっています。



ノウサギ



タヌキ



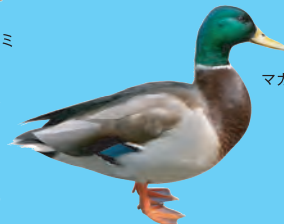
イノシシ

鳥類

ダム湖は、オシドリやオオバンなどの越冬地、水際はヤマセミ、カワセミのえさ場などとして利用されています。また、ダム湖周辺にも、樹林はヤマガラ、草地はホオジロなど、多くの鳥類がみられます。



カワセミ



マガモ



オオバン



オシドリ



ヤマセミ

音無の湿地

ダム湖の上流部の音無地区は、もともと湿地地帯であり、現在のような乾田化される前は湿地環境を中心とした生態系が存在していたと思われます。湿地は、生き物たちの聖域として重要な場所となるため、多様性に富む湿地環境の再生・回復に取り組んでいます。

